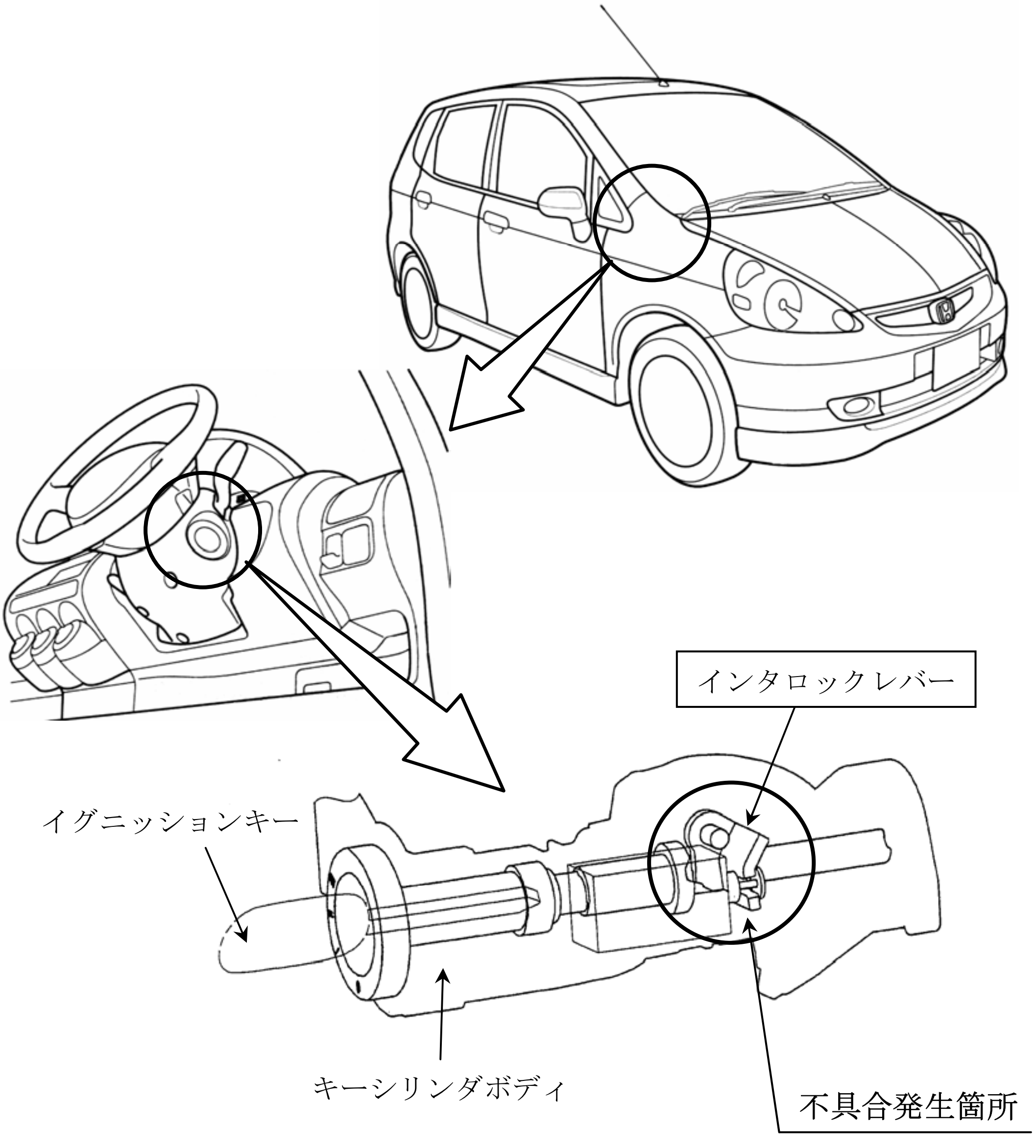

キーインタロック機構（ＡＴのＰポジション以外でキーが抜けない機構）において、キーシリンダボディの組み立て工程が不適切なため、キーシリンダボディカバーカシメ時の金属粉がインタロックレバー作動部に噛み込み、レバーの作動が遅くなるものがある。そのため、ＡＴセレクトレバーがＰポジション以外の時に、短時間にキーを抜く操作を行うとキーが抜け、駐車ブレーキをかけ忘れた場合、駐車中に車両が動き出すおそれがある。

改善の内容

全車両、Ｐポジション以外でのイグニッションキー抜け状態を点検し、イグニッションキーが抜けるものは、当該レバー摺動部を清掃し、レバーを新品と交換する。

注：［　　　］は交換部品を示す。

識別：運転席ドアストライカの下側ボルト頭部に白色ペイントを塗布する。